

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-4 常盤橋タワー	
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：2,205人 (岡山事業所：1,020人、倉敷事業所：689人、鶴海事業所：304人、くらしき研究センター：192)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山事業所		岡山市南区海岸通1丁目2番1号	
	②	倉敷事業所		倉敷市玉島乙島7471番地	
	③	鶴海事業所		備前市鶴海4342番地	
	④	くらしき研究センター		倉敷市酒津2045番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 4 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和4年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和7年度)
	661,084 t CO ₂	735,033 t CO ₂	641,251 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	岡山事業所	647,412 t CO ₂
	②	倉敷事業所	67,516 t CO ₂
	③	鶴海事業所	17,889 t CO ₂
	④	くらしき研究センター	2,216 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和5年度 ~ 令和7年度 (3箇年度)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 11.2 %	3.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・令和5年度温室効果ガス排出量は、基準年度(令和4年度)に対して、+73,949 t CO₂(岡山事業所+73,677tCO₂、倉敷事業所△902tCO₂、鶴海事業所+1,185tCO₂、くらしき研究センター△11tCO₂)、11.2%増加し、目標とした△1%/年(3年間で△3%)の削減は達成出来なかった。
 ・温室効果ガス排出量の増加は、法改正による影響により、+56,667 t CO₂(岡山事業所+56,080tCO₂、倉敷事業所+558tCO₂、鶴海事業所+29tCO₂)、岡山事業所のボイラー燃料構成の変更(LNG→石油コークス)により+19,772tCO₂増加。
 ・今後も、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

【推進体制】

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO2削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山事業所	(令和5年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・ビニロン製造工程での標準外PVAの活用 (CO2削減量1,141t/年) ・ビニロン503列乾燥機蒸気削減 (CO2削減量700t/年) ・ビニロン排熱水有効利用による蒸気削減 (CO2削減量1,740t/年) ・エパールM-3T(D)規則充填化による蒸気削減 (CO2削減量1,080t/年) ・ポパールP-9T(A)フィード熱交設置による蒸気削減 (CO2削減量1,510t/年)
岡山事業所	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・ビニロン製造工程でのRe-PVAの活用 (CO2削減量2,430t/年) ・ビニロンBCA蒸気削減 (CO2削減量550t/年) ・ポパールV-1T増段による省エネ (CO2削減量710t/年) ・高度制御再構築による回収工程の熱回収最適化 (CO2削減量3,200t/年) ・A-6Tボトム更新による還流比改善 (CO2削減量1,670t/年) ・排脱再生系減温器更新による余剰蒸気削減 (CO2削減量6,980t/年)
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・貫流ボイラー 熱回収による効率改善 (CO2削減量320t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	西条事業所に太陽光発電パネル設置 (49.5kW, 令和5年度)

【その他特記事項】